

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	音楽	種目	音楽劇
	応募区分	特別エリア区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	とくていひえいりかつどうほじんみらまーれ・オペラ		
	制作団体名	特定非営利活動法人ミラマーレ・オペラ		
	代表者職・氏名	理事長・松山郁雄		団体ウェブサイトURL
				www.miramareopera.com
	制作団体所在地	〒	223-0053	最寄駅(バス停) 東急東横線綱島駅
		神奈川県横浜市港北区綱島西2-2-12プリオール綱島式番館503		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	みらまーれ・オペラ		
	公演団体名	ミラマーレ・オペラ		
	代表者職・氏名	芸術監督・松山郁雄		団体ウェブサイトURL
				www.miramareopera.com
	公演団体所在地	〒	223-0053	最寄駅(バス停) 東急東横線綱島駅
		神奈川県横浜市港北区綱島西2-2-12プリオール綱島式番館503		
	制作団体 設立年月	平成20年 10月		
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
		理事長・松山郁雄、理事・樋本英一 理事・馬場紀碧、監事・米村桐子		指揮者、演出家、ピアニスト、歌手(歌手はオペラを専門とする歌手。十分な経験と実力を有し聴衆のための演奏姿勢を常に保てる者)
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	松山郁雄
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	米村桐子
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		<a href="mailto:ikuo@miramareopera.com">ikuo@miramareopera.com</a>		08040877580

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>平成18年1月19日 有限会社ミラマーレ・ムジカ設立</p> <p>平成20年10月15日 特定非営利活動法人ミラマーレ・オペラに組織変更、現在に至る</p> <p>平成24年度より令和元年度まで京都芸術劇場春秋座においてオペラ制作業務を受託。これまでに「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「セヴィリアの理髪師」「椿姫」「カルメン」「魔笛」を制作上演。</p> <p>令和5年度、令和5年度文化芸術による子供育成推進事業(芸術家の派遣事業)で横浜市教育委員会との連携により横浜市内の小中学校への芸術家派遣を行う。今年度も継続中。</p> <p>平成27年度より本事業、舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)の初採択を得て今年度までにオペラ「てかがみ」105公演を実施。 令和3年、4年、7年にC区分の採択を受けてオペラ「おこんじょうり」を16公演実施。</p>	
	学校等における公演実績	<p>◆平成17年 東京都江東区立東陽小学校でオペラ「愛の妙薬」日本語訳詞上演</p> <p>◆平成22年 長野県北信地区高校音楽鑑賞会でオペラ「愛の妙薬」日本語訳詞上演</p> <p>◆平成28年11月28日 君津市市民文化ホールにおいて翔凜中学高等学校の芸術鑑賞会で「椿姫」と「愛の妙薬」のハイライト・コンサート</p> <p>◆平成29年8月24日 えりも町立えりも中学校で「椿姫」と「愛の妙薬」のハイライト・コンサート</p> <p>◆平成30年2月15日 春日部市民文化会館にて春日部共栄中学高等学校芸術鑑賞会でオペラ「カルメン」を上演</p> <p>◆平成27年度～令和7年まで11年間連続で本事業に採択。全国の小中学校でオペラ「てかがみ」を上演(公演総数は99校)</p> <p>◆令和3年6月30日 八王子J:COM 八王子学園八王子高校の芸術鑑賞会 オペラ「カルメン」</p> <p>◆令和3年12月13日 練馬文化会館 都立大泉高等学校の芸術鑑賞会 オペラ「カルメン」</p> <p>◆令和3年、4年本事業のC区分に採択全国の小中学校でオペラ「おこんじょうり」を上演(公演総数は20校)</p> <p>◆令和6年10月7日 蒲郡市民会館 蒲郡市内小学校の芸術鑑賞会 オペラ「カルメン」</p> <p>◆令和7年6月20日 練馬文化会館 中央大学高等学校の芸術鑑賞会 オペラ「カルメン」</p>	
	特別支援学校等における公演実績	<p>◆昨年度10月28日に山梨県立高等支援学校桃花台学園でA区分応募作品オペラ「てかがみ」の公演を実施した。軽度知的障害の高校生男女が非常に積極的な参加をしてくれ、演技と歌唱で公演を盛り上げてくれた。</p> <p>◆令和4年度「おこんじょうり」で「那珂川市立那珂川中学校後野分校」の公演実績。</p> <p>◆芸術家派遣事業では横浜市立盲特別支援学校、同市立上菅田特別支援学校、同市立東俣野特別支援学校、同市立若葉台特別支援学校において発声講座、打楽器講座、合唱講座の3企画で高い評価を受けている。</p>	



参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://www.youtube.com/watch?v=3CaygZDg4bQ	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	不要
		PW:	不要

別添	あり
----	----

【公演団体名      ミラマーレ・オペラ      】

本公演・ワークショップの内容

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	命と呼びかけの大切さを伝える オペラ 「おこんじょうるり」			
企画のねらい	1.ワークショップと本番を通じてオペラという舞台芸術を体験し興味を持ってもらいたい。またプロのオペラ歌手と同じ舞台に立つという体験の中で「カラダという楽器」は生徒達も平等に持っており、その可能性は無限であることを知って欲しい。 2.「いじめ」問題に対する教材として:きつねと老婆の交流というストーリーから、相手の見た目や印象に囚われることなく声をかけあったり、お互いを理解しようとする気持ちを学んでもらいたい。 3.長年に渡って舞台制作に携わっているキャストやスタッフと共同して一つの作品を作り上げるプロセスを肌で感じてもらい、小さな努力や様々な工夫の積み重ねで舞台作品は造られている事を生徒一人一人に感じ取ってもらいたい。			
演目概要・演目選択理由	登場人物はおこん(ソプラノ)・ばばさま(アルト)・ごんすけ(テノール)・じんざ(バリトン)の歌手4人。シンプルにピアノと打楽器による演奏形態で進行し、盲目の老婆と子ぎつねの心の交流と欲に目がくらんだ人間の愚かさを巧みに描いた秀作です。 学校内のいじめが顕在化している昨今、この作品中で老婆が子ぎつねに愛情を注ぐようになる過程を通じて、外見にとらわれず他人と通じ合うことの大切さを伝えます。オペラは歌芝居であり、「言葉」を伝えることの重要性を訴え続けた作曲家林光の意図が反映された作品です。人間の声の素晴らしさをでドラマを明快に伝えている良作品と確信し、演目選択理由としました。 別添く演出ノートとオペラ「おこんじょうるり」のあらすじ>			
児童・生徒の参加または体験の形態	1. 開演前のレクチャーを付きミニ・コンサートではオペラ歌手の歌声やさまざまな打楽器の音色を学んでもらいます。 2. 生徒参加の形態として、おこんの仲間の子ぎつね役(4人程度)と噂話をする村人役(10人程度)、不思議なじょうるりの効果役(10～20人程度)として出演してもらいます。 3. 終演後には感想を発表してもらい、キャストも生徒さんからの質問に答えます。希望があれば生徒さんとキャストとによる意見交換会も可能です。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演		参加・体験人数目安	10人～20人程度
			鑑賞人数目安	300名程度(体育館の大きさにもよる)
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	オペラ「おこんじょうるり」 作曲:林光 台本:若林一郎 演出:三浦安浩 じょうるりダンスの振付:三浦奈綾 レクチャー付きのコンサートを含めた構成:松山郁雄			
	公演時間	75	分	
出演者	おこん:竹村真実 ばばさま:柚友恵子 じんざ:大島嘉仁 ごんすけ:黄木透 ピアノ:巨瀬励起 打楽器:竹内美乃莉			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<メインキャスト>竹村真実(予定):明治大学文学部を経て東京音楽大学音楽学部音楽学科声楽専攻(声楽演奏家コース)を首席で卒業。新国立劇場オペラ研修所を修了。ANAスカラシップによりバイエルン州立歌劇場研修所にて短期研修 <ピアニスト>巨瀬励起:東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。田中美江、田代慎之介、小林道夫の諸氏に師事。声楽の伴奏者、オーケストラの鍵盤楽器奏者として多くにキャリアを持つ。 <演出家>三浦安浩:国立音楽大学、メーランド大学大学院修了。新国立劇場「セルセ」で演出家デビュー。近年の代表作として金沢市共催「禅～ZEN」、静岡県民オペラ「イリス」など。			
本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む	出演者:		6	名
	スタッフ:		9	名
	合 計:		15	名
			運搬	
			積載量:	2 t
			車 長:	6 m
			台 数:	1 台

<div> <div>本公演・ワークショップの内容</div> </div>	<div> <div>本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安</div> </div>		<div> <div>前日仕込</div> </div>		<div> <div>無</div> </div>		<div> <div>前日仕込所要時間</div> </div>		<div> <div>時間程度</div> </div>			
	<div> <div>到着</div> </div>		<div> <div>仕込</div> </div>		<div> <div>上演</div> </div>		<div> <div>内休憩</div> </div>		<div> <div>撤去</div> </div>		<div> <div>退出</div> </div>	
	<div> <div>8時</div> </div>		<div> <div>8時~10時</div> </div>		<div> <div>13時30分~14時45分</div> </div>		<div> <div>ナシ</div> </div>		<div> <div>15時~17時</div> </div>		<div> <div>17時20分</div> </div>	
	<div>※本公演時間の目安は、概ね2時間分程度です。</div>											
	<div> <div>本公演 実施可能日数 目安</div> </div>		<div> <div>6月</div> </div>		<div> <div>7月</div> </div>		<div> <div>8月</div> </div>		<div> <div>9月</div> </div>			
	<div> <div>17日</div> </div>		<div> <div>12日</div> </div>		<div> <div>0日</div> </div>		<div> <div>0日</div> </div>					
	<div> <div>10月</div> </div>		<div> <div>11月</div> </div>		<div> <div>12月</div> </div>		<div> <div>1月</div> </div>					
	<div> <div>0日</div> </div>		<div> <div>10日</div> </div>		<div> <div>14日</div> </div>		<div> <div>14日</div> </div>					
	<div>※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。</div>				<div>※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</div>				<div> <div>計</div> </div>		<div> <div>67日</div> </div>	
	<div> <div>舞台設営は主にステージ下のフロアを使いますが、ステージ上にも木立を置き導線の一部として使用します。大小5枚の移動式のパネルを緞帳の役割の他、様々なシーンの表現に使用します。</div> <div>舞台写真(上)フロア下に設置した舞台と登場人物全員がいるシーン</div> <div>舞台写真(下)全景で楽器の配置も良くわかるアングル</div> <div>実際の演技エリアは10m×10m程度。</div> <div>別添:&lt;演出ノート&gt;と&lt;あらすじ&gt;</div> <div>  </div> <div>  </div> </div>											
<div> <div>公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真)</div> </div>												
<div> <div>※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載し</div> </div>												
<div> <div>著作権、上演権等の許諾状況</div> </div>		<div> <div>各種上演権、使用权等の許諾手続の要否</div> </div>				<div> <div>該当あり</div> </div>		<div> <div>該当コンテンツ名</div> </div>		<div> <div>作品全体が該当</div> </div>		
<div> <div>該当事項がある場合</div> </div>		<div> <div>権利者名</div> </div>		<div> <div>林光 (JASRAC)</div> </div>				<div> <div>許諾確認状況</div> </div>		<div> <div>使用(上演)許諾取付済</div> </div>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名

ミラマーレ・オペラ

】

ワークショップの  
ねらい

1. オペラはマイクを使わない音楽劇であることを理解してもらい、全身を使った発声方法を歌唱指導によって体験してもらいます。
2. 舞台上の登場人物として、リアクションはどのように行えば観ている人達にその効果を伝えられるかを指導し、実際に体験してもらいます。
3. 繰り返し練習をして技術や表現を身につける事は、日頃の学習にも当てはまる事をワークショップを通じて体験してもらいます。
4. 演奏はピアノの他に様々な打楽器を使用しますが、演奏の実演の他、生徒達にも打楽器に触ってもらいます。学校の備品のトライアングルやカスタネットを使いプロの演奏家が様々なテクニックを披露します。

児童・生徒の  
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

10名から20人程度(見学希望人数は不問)

ワークショップ  
実施形態及び内容

以下の2段階で実施いたします。

① プレ・ワークショップ:公演日の4~2週間前を目安に、ZoomなどのWeb会議ツールを利用して作品概要と生徒参加部分についての説明をします。

② 当日のワークショップ

◆午前中の1校時分相当を使って出演する生徒の皆さんとのリハーサルを実施します。(45分)

1. じょうりダンスの練習
2. 村人のじょうり風セリフの練習
3. 質疑応答と本番までの確認等

◆上演前に鑑賞する全児童生徒へ向けて簡単なレクチャーを実施します。

1. オペラ全般と本作品についての説明
2. ミニコンサート(歌やピアノの演奏)
3. 様々な打楽器の紹介と実演、生徒もチャレンジ(15分)

当日のワークショップのレクチャーは主指導者と歌手3名、打楽器奏者1名、ピアニストの計6名で実施します。

写真&lt;左&gt;開演前のワークショップ。打楽器の体験 &lt;右&gt;ミニコンサートでのソプラノ独唱

その他ワークショップに  
関する特記事項等

1. 資料(譜面やパート別の模範演奏を収録した練習用DVD)を事前にお送りしますが、リモートによるプレワークショップと当日のワークショップを体験することで、自分たちの役割がいつそうリアルなものとなり、本番までにそれぞれの目標を作りあげることが可能です。

2. 参加生徒さん達に登場してもらうエリアは主に体育館のフロアを使用しますので、車椅子や松葉杖での参加も全く問題はありません。



別添	なし
----	----

【公演団体名                      ミラマーレ・オペラ                      】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
会場の設置階の制限		2F以上応相談		主幹引き込み電源容量		70 A以上	
舞台設置面積		間口	10 m		奥行	10 m	
		高さ	指定なし		m		
舞台設置場所		フロア対応	可		学校のステージでの対応		可
搬入間口の広さ		幅	2 m		高さ	指定なし	m
遮光の要否		遮光要件なし		緞帳の要否		不要	
ピアノの使用について		あれば必要に応じて使用する		ピアノを使用する場合の設置位置の指定		あり	
				ピアノを使用しない場合の移動の要否		要	
搬入車両(トラック等)の横づけ		応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		20 m以内	
搬入車両の種類		中型トラック		台数	1 台		
搬入車両の大きさ		車幅	2.5 m		車長	6 m	
備考							

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
	会場図面の提出要否	要	
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

時間 外 対 応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
ワークショップ						
本公演						
本公演						

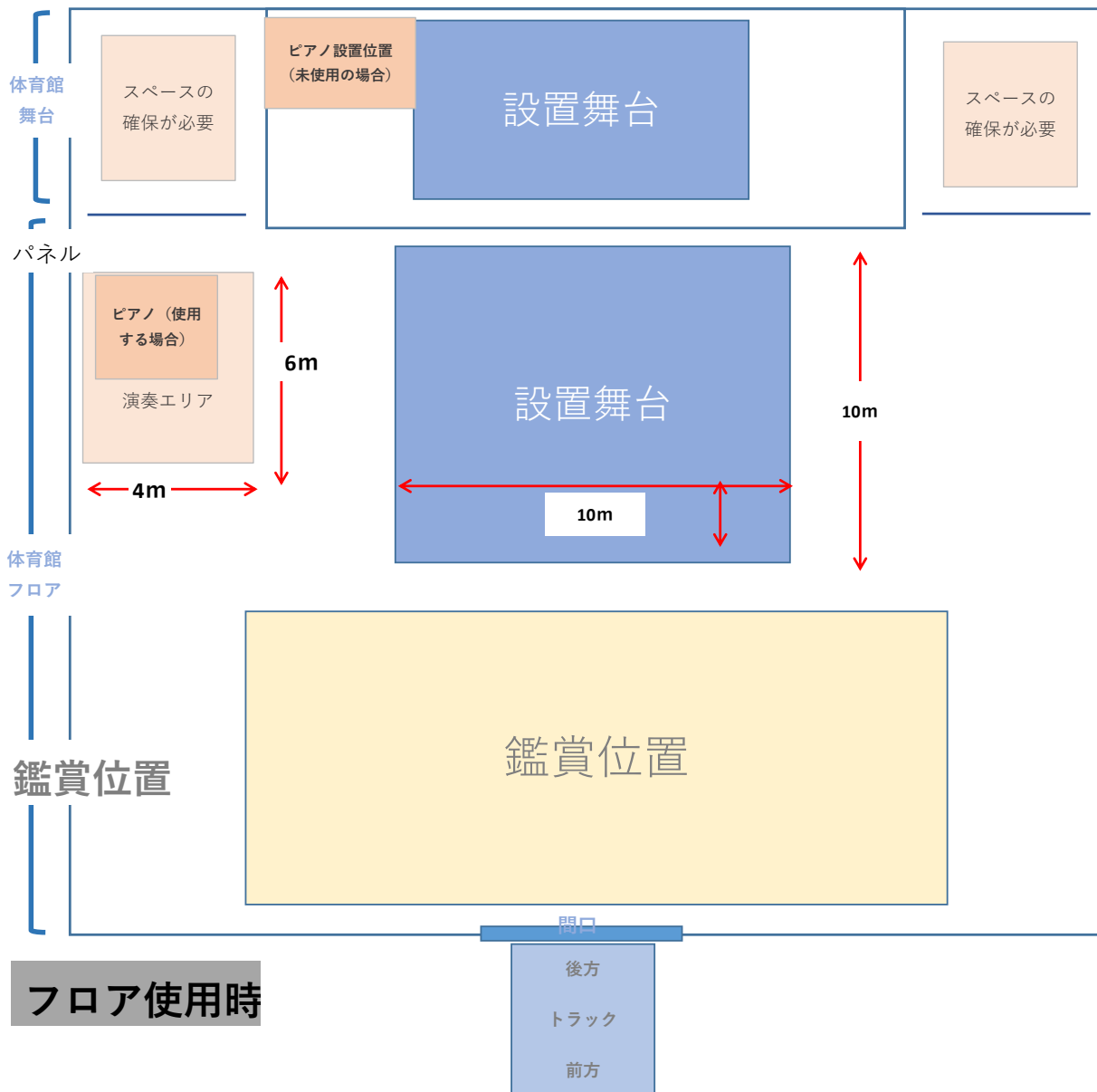
個別 確認 事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	ツアーの初日の学校となった場合のみ、前日仕込みをお願いする事があります。
	2	
	3	

(任意)

会場条件について最低限必由条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面





別添

なし

【公演団体名

ミラマーレ・オペラ

】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

## 【本事業を通じて実現したいこと】

A.歌役者としてオペラの舞台に立つことは決して特別に選ばれた人間だけが出来ることではなく、長い年月をかけてたゆまぬ努力の積み重ねの基に成り立っていることを生徒たちにも知ってもらいたい。

B.オペラは「難しい…」 「ぜんぶ外国語なの？」などの先入観を払拭し、本作品のように日本の民話など題材にした身近な作品も数多くあることを知ってもらいたい。

C.弊団のツアーは4人のキャスト、2人の演奏家、9人の舞台スタッフの計15人で構成されているが、観客から見えないところでも様々な仕事が同時進行で成されているスペシャリスト集団であることも生徒たちに紹介したい。

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

A.ワークショップでは「カラダを楽器」としてどのように使って声を出しているかを実践し、生徒にも体験してもらう時間を作ります。公演時の前説でも、オペラ歌手がマイクを使わない生の歌声をいかに造り上げてきたかを説明します。

B.難しいと思いがちなオペラも実は「人間の愛」をテーマにした作品がほとんどであることや、朗々と歌っているだけに聞こえても、実はメロディのついたセリフ(歌詞)の内容に見合った演技をしながら歌っていることに注目してもらおう。表現力があれば、外国語の歌でもちゃんと聴衆の理解が得られることを実践してみせる(開演前のミニコンサート時)。

C.公演前の説明では衣裳、照明、音響からトラックのドライバーに至るまで、その役割と共にスタッフを紹介する時間を設けます。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

## 【学校との連絡調整について】

1. ご担当が管理職の場合は比較的連絡が取り易いが、担任をお持ちの先生は電話連絡のタイミングが合わせにくく、さらにメール連絡でも、時間的、物理的にタイムリーな確認が困難なケースが散見されますので、そうした場合は、FAXの活用なども含め、担当の先生との通信環境を早めに確認し、できるだけご要望に添う手段を取り入れたいと考えている。
2. 学校側から理解を示して頂けるようなら、管理職の先生を含んで担当の先生を複数にして頂くことも効果的であると考えている。

## 【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

参加してもらう作品がオペラなので、歌うことと演じることの2つの要素を同時に行う難しさと楽しさがあるが、個々の特性としてこうした行動を苦手とする生徒には、歌わずに演技だけのシーンへの参加、または道具や衣裳を揃えたりするスタッフの手伝いなどに携わってもらうといった工夫もしたいと考えている。

## 【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

1. これまでと同様に感想文などに対する返信やお礼を怠らないよう心掛ける。
2. この事業をきっかけにオペラや舞台芸術などへの興味を持ち続けてもらえるよう、公演の案内(現実には遠方で観には来れなくとも)やテレビ番組等で興味の継続が期待出来るようなプログラムが有った場合は、メールやSNSを活用しての周知を心掛けたい。

別添

なし

【公演団体名

ミラマーレ・オペラ

】

特別エリア区分で事業を実施するに当たっての工夫

## ①離島・へき地等における公演実績

## ①離島・へき地等における公演実績

1. 紀美野町立美里中学校／平成27年10月15日(木)「てかがみ」

\*キャストスタッフ数より生徒数の方が少ない小さな学校でした。

2. 小値賀町立小値賀中学校／平成30年9月18日(火)「てかがみ」

\*佐世保から高速艇で1時間程度の離島。前日入りでGPも行った事から島内に4日間滞在し、島民の皆さまの温かさにも触れることが出来ました。

3. 嬉野市立大野原小学校併設校、嬉野市立吉田中学校、屋久島町立中央中学校その他令和3年は12校、令和4年は10校で本作品「おこんじょうり」びワークショップと本公演を実施しました。

## ②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、当該地域、また特別エリア区分の企画に求められる要件を踏まえた上で、一般区分と同様の公演及びワークショップの質を保つための工夫

## 【特殊な事情がある地域での実施に当たっての工夫】

1. 訪れた地域の地名や方言などを可能な範囲で上演作品の中に取り込み、オペラ「おこんじょうり」をより身近に感じて貰えるための工夫とします。

2. 小道具、舞台装置補助としてその地の特産品などを登場させる工夫をします。

## 【質を保つための工夫】

1. 公演当日のワークショップの充実度を高めるため、参加生徒を対象としたZoomによる事前指導を実施します。オペラ全般～本作品について興味を持ってもらうきっかけを作り、本公演で参加生徒が担う役どころや登場シーンについては、演出家の解説や実演を録画した動画も活用して説明し、本番当日のリハーサルに結びつくようにいたします。

2. 作品の質を保つために一番重要なこととして、実力・技術力はもちろん、作品に情熱と探究心を持ち続けられる意欲あるキャストやスタッフの確保・育成に力を入れています。

## ③特別エリア区分応募における、費用面の工夫

1. Zoomを活用してのプレ・ワークショップを行うことで、指導者陣の事前学校訪問が不要となるため、派遣費の大幅節約となります。

2. 舞台費を極力抑えるために照明機材数は使用せず、自然光を効率的に取り入れた舞台とします。これまで照明に依存していた「不思議なじょうり」の効果は、参加生徒によるダンスや森の木々、風のざわめき等で表現する工夫をして作品のクオリティを保つ工夫をします。

3. キャストも搬入搬出、舞台・楽屋の設営、衣裳準備などのスタッフ業務を兼任することで最小限の人数で最大限のパフォーマンスが出来るよう工夫をいたします。

4. 機材車はトラック1台で舞台大小道具、打楽器、キーボードを同梱して運搬費の圧縮化を図ります。

5. 離島僻地での宿泊条件等を十分に理解し、ホテル宿泊が困難な場合は旅館、民宿での相部屋での投宿にも問題なく対応する考えです。

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	ミラマーレ・オペラ	】
項目内容	<p>&lt;三浦安浩の演出ノートから&gt;  「呼びかけ」と「応え」  このオペラにはたくさんの「呼びかけ」とその「応え」が随所に描かれています。  お腹をすかせた子ギツネがイタコのばばさまの食べ物を盗もうとしますが、盲目のばばさまに自分の正体を言い当てられ狼狽します。ばばさまはおこんが不思議なじょうりの力で自分の頭痛や腰痛を治してくれたことを大いに喜びおこんに親しみを持つようになります。  ばばさまは現実の世界を目で見ることはできませんが、物事の真実を見極められないわけではなく、むしろ彼女の「心」は目が見える人間よりも研ぎ澄まされているのかもしれません。  おこんとばばさまは互いに親しみを込めて「ばばさま」「おこん」と呼び合い、そこに人間と動物というカテゴリーを超えた愛が生まれます。  私たちは普段、誰に呼びかけられた時、その呼びかけにどうに答えて(応えて)いるでしょう？  誰かの思いが込められた呼びかけに「不安」や「疑い」のフィルターをかけてしまい、その呼びかけの中にあるはずの「愛」を見過ごしてはいないでしょうか？「不安」や「疑い」「憎悪」の思いで誰かの名前を呼んではいないでしょうか？呼びかけには力があります。人種、文化、宗教、性の違いが多くの対立を生んでいる今こそ私たちは身の回りにある多くの呼びかけに心を開かなければなりません。</p> <p>&lt;あらすじ&gt;  人里離れた山奥で一人暮らすイタコのばばさま。ハズレてばかりの占いや呪い(まじない)に、いつしか訪ねてくる人もいなくなり寂しい毎日を過ごしています。そこへ腹を空かせた子ギツネが食べ物目当てに娘の姿に化けて現れます。しかし目の見えないばばさまには、いくら化けてもお見通し！それでも哀れに思い食い物を与えるとギツネはそのお礼にと「不思議なじょうり」を喰り始めます。それは病気を治す効き目があると言う「じょうり」で、ばばさまは足腰の痛みも取れて大喜び！ばばさまは、ギツネから「不思議なじょうり」を教わろうとしますが、耳も遠く歯も抜けたばばさまは口まねすら巧くできない始末…。そこへ谷底へ落ちて大ケガをした猟師のじんざが担ぎ込まれます。とっさに名案！とばかり、ばばさまはおこんに「じょうり」を喰らせ自分は口パクでにわか呪い(まじない)を披露。じんざのケガがあっけなく治ったものだから、ばばさまの神通力？は村中で大評判となり、とうとうお城の殿様の耳にまで届きます。お姫様の病気を治して褒美のお金をたくさん貰って帰る道すがら、ばばさまを城まで送り迎えた馬子のごんすけ、ばばさまの大儲けにどうにも納得がいきません。いっそばばさまを殺して褒美の金を自分のものにしようと殴りかかったその時、とっさにおこんが身代わりとなってばばさまを助けます。瀕死のおこんを助けようと今度は、ばばさまが必死の形相で「じょうり」を喰りますが願いは届くはずもなく…。おこんは自分のために必死に「じょうり」を喰ってくれたばばさまに感謝しながら息絶えます。</p> <p>&lt;写真&gt;左:4人のキャラクターが全員登場しているシーン  右:おこんに「じょうり」を教わるばばさま</p> <div data-bbox="419 1258 919 1581" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="927 1350 1414 1662" data-label="Image"> </div>			